

# 高齢者に孫心弁当届ける

## 一人暮らし宅(城北)訪問

### 津山高生手作り 栄養配慮した10品 初のクッキーも

津山高生高校(山北)の生徒たちは12日、同校調理室で「手づくり孫心(まごころ)弁当」と名付いた厚食をこし

らえ、城北地区の一人暮らしの高齢者約80人「孫心弁当」を手渡す津山高生徒



に届け、喜ばれた。家庭クラブ活動の一環として毎年この時期実施しており、今回は初めてクッキーも手作り。高齢者の好みに合うよう栄養のバランスや食べやすさに配慮した献立を考え、3年生33人が朝から「プリの照り焼き」や「きんぴらコボウ」「ホワレンソウの白あえ」「炊き込みごはん」など10品を調理した。

できあがった料理を弁当用トレイに彩り良く詰め、同地区の民生児童委員の案内で各家を訪問。山北の女性(85)宅を訪れた中尾文哉さんと小椋奈々さんは、「真心込めて一生懸命作ったので食べて

性は「品数が多くておいしく、今年も楽しみに待っていました。朝早くから支度していただいてありがとうございます」と笑顔でお礼を述べた。プリの照り焼きを初めて作ったという中尾さんと、中華風の酢の物を調理した小椋さんは「こんなに喜んでもらえてとてもうれしく」と話していた。